

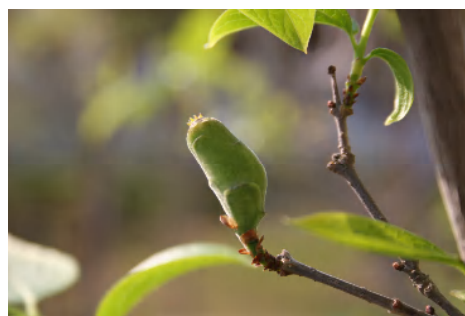
蠟梅 Now

当法人のシンボル・ツリー「蠟梅」は、今、一面が光る若葉に覆われ、天候の良い日には燦々と降り注ぐ太陽の光を貪欲に吸収し、開花後の体力消耗を補い、かつ将来の備えに怠りない。

遡ること、年が明けて、1月初旬に、地球温暖化の影響もあるのだろうか、2004年の法人設立記念に植樹して以来、最も早い開花を見た。一ヶ月を超えて続いた開花の後半には、初春の息吹を感じて、もどかしそうにしていた梅、桜、桃、辛夷(こぶし)、木蓮、花水木と、次々とこれに倣い、そして躑躅(つづじ)が今、開花を始めた。この時期、自然の恵みを多種多様な花々から感じ取れるすばらしい一時である。疲れたとき、心が荒んだとき、・・・、耳を澄ませば、花にも心があるかのように語りかけてくる。「どんな環境でも精一杯に咲き誇っています。ホラ、こんなにも！」

自然との対話が少なくなり、ヒトとヒトの関わりにまで翳が忍び寄るような昨今、時間の変化がごちない。なぜそこまで?、と思われるような事象が余りにも多いことに、言葉には表しにくい違和感が生じるのだが・・・。

話を戻して、蠟梅に今年は、小指の先ほどの果実が多数見られる。昨年は見られなかったもので、調べてみたもののわからず、これまでの経緯から見て、どうやら隔年に結実するようである。時間の経過とともに大きくなり、いずれ冬枯れで中に種を孕んだ蓑虫のような形状になるはずである。今年は、是非、実生の蠟梅に挑戦してみたい。



《発行者》

特定非営利活動法人 未来技術フォーラム神戸
事務局長 大森 信
〒657-0845 神戸市灘区岩屋中町 4-2-7
TEL&FAX : 050-2014-2293 (IP Phone)
E-mail : info@npo-ffk.or.jp
URL : <http://www.npo-ffk.or.jp>